

令和6年度とよたシニアアカデミー通年コース

文化工芸学科

選択 竹工芸・木版画 講座風景

文化工芸学科のカリキュラムの特徴のひとつに、竹工芸・木版画・陶芸の選択コースがあります。三つのコースからひとつ選んで受講できます。4月から6月までの間に、竹工芸と木版画の選択コースの講座がありました。物をつくる難しさと、できあがった喜びを感じながら8回の選択コースの講座が終了しました。9月~12月までは陶芸の講座があります。少人数で先生から直接技術を教わる事のできる選択コースは、また通常の講座にはない魅力があります。力作ぞろいの作品ができました。2月に行われる活動発表展に作品が並びます!おたのしみに!

選択コース：竹工芸 4/22・5/13・27・6/10・24(月)

選択コース：木版画 5/10・24・6/7・6/21(金)



文化工芸学科の中の、**竹工芸**を選択した10名は、三州足助屋敷竹職人の鈴木先生のご指導のもと、箆編み、竹ヒゴ作り体験することができました。

【ふりかえりより】●竹の講義は毎回楽しみで編み上げた時の嬉しさ、まだ、他の物も作ってみたいという想いかられました。●5回にわたる竹工芸の講座が終わりました。どれひとつとってもとても刺激的でした。最後の竹ヒゴ作りはとても難しかったです。昔の農民の人の素晴らしさを改めて感じた次第です。この伝統を後生の人に是非残して頂きたいです。

講師：鈴木 脩希 氏



文化工芸学科の中の、**木版画**を選択した10名は、版画作家の加藤照子先生のご指導のもと、版木を彫り4色刷りの版画を制作しました。

【ふりかえりより】●木版は刷ってみて初めて絵が完成するのでそれまでの地道な作業がいかにか大切に実感しました。年賀状で頂く木版画への見方が大きく変わりました。●先生方に最終チェックを受け版画に色を塗り、ハガキを載せ、パレンで擦る。さあ、いよいよ、胸がドキドキしながらハガキを剥がすと、思ったよりもきれいにできあがり、やった!!と思いました。

講師：加藤 照子 氏

4/22
三州足助屋敷
箆屋見学
概要説明

新緑がまぶしい三州足助屋敷で箆屋を見学し竹工芸について説明をして頂きました。伝統工芸の竹細工の美しさに感動しました!



5/13
六ツ目編みの
練習



紙の上に描かれた線通りに竹ひごを置いて編み始めましたが、竹ひごを上にとったり下にとったりと覚えるのが大変でした!



5/27
六ツ目編み箆
を作る



六ツ目編み箆が完成しました!竹ひごから立体的な箆が無事できあがり嬉しかったです!

6/10
四ツ目編み箆
を作る

四ツ目編み箆も完成しました!自分で編んだ箆に早く何かを入れてみたくなりました!果物、カギ、ペットボトル置き等々楽しみだな~



6/24
竹ヒゴ作り
ふりかえり



竹筒をどんどん細く割っていき、さらに竹を薄く裂いていく工程がこんなにも難しいものだとなりました。



5/10
概要説明
下絵の転写

木版画ってどんなものだろう?先生が木版画の最高傑作は「浮世絵」と教えていただきました!さあ、私達も最高傑作ができるかな!



5/24
彫り



紙がずれないように「L」字に彫り込む『カギ見当』と「一」字に彫り込む『引き付け見当』ここから【見当をつける】という言葉が生まれたそうです!

6/7
彫り



ひたすら、彫り進めていく作業。無心になれる時間。先生のご指導を受けながら、彫りの最終仕上げです

6/21
刷り
ふりかえり

やっと四版多色刷りの木版画が完成しました!パレンでこすりながら、どんな風に色が重なって行か、ドキドキ、ワクワクしました!

